

令和7年度 第1回 白檀小学校学校運営協議会会議録

I 活動実績

会場 開催日時	出席者
視聴覚室 6月30日 10時00分～12時00分	小田勝通・工藤英俊・北原勝美・甲元公枝・尾松教子 垣口佳賀子・菱田静次・横山正信・森川和彦 山本邦彦・香美秀央・脇本卓美 合計 12名

議題及び主な意見
案件①学校長より挨拶 今年度発足するコミュニティースクールの構成についての旨を説明
案件②学校運営協議会委員自己紹介と役員選出 会長は工藤英俊さんに決定。副会長・事務局長はいったん保留とし、記録として脇本が入ることを確認。
案件③今年度の学校の方針について ・昨年度は旧南校舎で開校式、来年度夏には旧北校舎に移動予定。工事は現在順調。 ・児童数は255名。1年は単学級。職員数40名（短期間勤務含む） ・学校目標「主体的に深く考え 心豊かに関わり合い 未来をしなやかに生きる子の育成」→しなやかとは竹のようになかなか折れない心 ・めざす児童像「課題に適切に対応していける子」→教科学習だけでなく、自分で課題をもつ ・白檀小のランドデザインについて - 個別最適で→DXで研修 - 対話的で→相手の知識をきき、咀嚼して自分の知識とする - 練られた→学年が上がるごとにレベルアップして学習を行う - 協働学習 <u>全ての学校活動の基盤は人権教育をベースに行う</u> ・重点目標（多様性の尊重と学習参加の保障・学習の質の向上と授業改革・対等で安心できる人間関係・安全教育・健康教育・未来を創る力の育成） - 学力向上 人間関係づくり キャリア教育 - 見えない学力（非認知能力）の育成→自分で課題を見つける力。やりぬく力 ・学校要覧の説明
案件④意見交流 ・「しなやかに生きる」に大賛成。「生きる力」につながる ・頑張れ・強くなれという逆に折れてしまうかも。子ども同士の声かけも「しなやかに」につながる

っている。

・勉強・運動ができるだけでなく、自分でやりぬく(=見えない学力)かと。見えない学力を先生方の視点として持ってほしい。たえず見てくれると「学校楽しい」となり中学高校へつながるのでは

・近隣公園の上の方で10人ほど秘密基地遊びをしている。時々のだきに行ったりしている。

・我々の時は自分たちで気をつけていた。今は大人の目がありすぎ。今は大人の目が行き届かないことは“危険”となる。

・叱ると逆にクレームが来たり、不審者となったりするのではと思ってしまう。

・経験を通して自分で気づく力というのが難しい。ほったらかしだった頃の自分は、自分や年上の人からの説明で理解できた。「折れない心」「しなやかな」は学校でしか育たない。

・ランドデザインに夢がある。子どもは良いことも悪いことも含め、経験できない。学校に期待することも多い。

・ランドデザインを見て、今の子は恵まれている。「しなやかさ」が心に響いている。

・人とかかわりあいの大切さ(勉強だけでなく)

・子どもたちは恵まれてると、思っていないのかも。

・スクールカウンセラーの対象は大人だけですか?→いいえ。予約制をとっており、大人の利用がほとんど。

・親が経験させてあげたいけどできないことを学校でさせてあげることが有難い。白檀の世界なんてほんと小さな世界。小中の校区(同級生)なんて一時のこと。それを子どもに伝えてあげてほしい。

・もう少しコンパクトにしたらい。教員やめて10数年たってホントに教育が変わっている。タブレットを使って、字を書いてません、ホントに良いのかなと思う。コロナ以後変わってきてしまった。学力偏重が変わってきている。大学がすべてでなく、自分が好きなところに行ったらいい。

・白檀小としての課題も知りたい。先生方の悩みも共有したい。子どもの教育に過去と将来展望をリンクさせていきたい。

・「しなやか」がいいかなと思う。レジリエンスのことですね。学校・地域・保護者の参画どうか。地域と保護者がつながらなければならないと思う。コミュニケーションをとれる場があれば。保護者同士でも希薄な時代なので。

案件⑤今後の予定

次回(第2回)12月8日(月)

(第3回)2月16日(月)